

おおまち

ボランティアニュース

発行 大町市社会福祉協議会内
大町市ボランティアセンター
長野県大町市大町1129
(東町 総合福祉センター内)
TEL (0261) 22-1501
FAX (0261) 22-7071
URL <http://www.omachishakyo.org/>

販売開始

ひまわりの家 やきいも

ひまわりの家の冬の風物詩となった焼き芋。毎年ご好評をいただいております。今年も11月より販売を行います。どうぞご利用ください。

- ・販売日 11月1日～3月31日
毎週火曜日と金曜日
- ・時間 午前10時～午後3時
- ・場所 市総合福祉センター エントランスホール
- ・値段 100円・100円 1本200円くらいから

11月初めの販売予定

- 11月1日(火)…初売り 市総合福祉センターで
- 11月3日(木)…市文化祭 文化会館前広場で
- 11月4日(金)…市総合福祉センターで
- 11月5日(土)…市文化祭 文化会館前広場で

※市内の注文や取り置きや配達も承ります。
お気軽にお電話ください。

ひまわりの家 TEL 22-4956
FAX 22-4958



喫茶すまいる

冷凍ショーケース設置

市総合福祉センター エントランスにある「喫茶すまいる」は、多機能型福祉サービス事業所で運営しています。以前に「喫茶すまいる」で使ってください」といただいた寄付金で、10月に冷凍ショーケースを購入しました。現在は、アイスクリームが入っていて、共同作業所の仲間や公衆浴場に来た方々に販売しています。これからは品数を増やして、多くの方に「喫茶すまいる」を利用していただけるようにと考えています。



購入した冷凍ショーケース

お互いさまのまちづくり

未来のふくし

福祉啓発の標語募集

『ふくしのまちづくり』を啓発する標語を募集します。

大町市社協では、「誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくり」を進めています。誰もが尊重され、自分らしく生活でき、安心して暮らし続けることができる地域をつくるのが求められています。そこで、市民一人ひとりが、思いやりを持って「ふだんのくらしに」あわせ、感じられる地域づくりを目指す標語を募集します。



パネルにして掲示



募集部門・応募方法・締め切り等は、次のとおりです。

題材は、福祉に関するものであれば、自由です。

例えは…

- ・ボランティア活動をして
- ・地域や施設で交流して
- ・地域行事に参加して
- ・福祉体験をしてみて
- ・災害支援や募金をして
- ・未来の福祉など

募集部門

- ・小学校 低学年の部
- ・小学校 高学年の部
- ・中学校の部
- ・高等学校の部
- ・一般の部

応募方法

- ・作品は、一人一点

小・中・高生は、担任の先生を通して応募してください。
一般の方は、住所・氏名・連絡先を明記し、郵送かFAX等で応募してください。

締め切り 12月23日(金)

表彰と発表

各部門の最優秀賞・優秀賞・佳作の作品には、賞状と記念品を贈ります。また、応募された方には、参加賞をお贈りします。
入選作品の発表と表彰は、「大町市社会福祉大会」で行います。
入選作品は、社協事業で活用します。

応募・問い合わせ

大町市社会福祉協議会

〒398-0002 大町市大町1129

TEL 有線 22-1501
FAX 22-7071

新しい編物サークル

暖か、寄付と展示販売会

9月27日(火) 新しい編物サークルのみなさんから「これから寒くなるので、3階の休養娯楽室で使ってください」と、手編み座布団18枚を寄付していただきました。手編み座布団は、社協に寄付された毛糸を使い中綿入りです。休養娯楽室に置いてありますので、どうぞご利用ください。また、12月13日(火)～27日(火)の間市総合福祉センター エントランスで、会員の作品展と販売会を行います。販売会での収益は、会の活動で使用するほか福祉活動に寄付する予定です。どうぞお出かけください。



柿 譲ってください

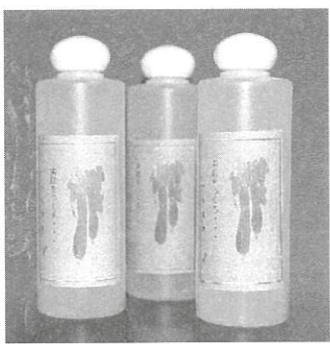
共同作業所すずらんでは、毎年干し柿を作って販売し、仲間たちの工賃にしています。「うちの柿採っていいよ」という方ご連絡ください。ご自宅や現地まで採り入れに伺います。

できあがった干し柿は、市総合福祉センター エントランスで販売します。

ご協力お願いします。

連絡先：すずらん TEL 26-3870

今年のへちま化粧水 ゆずり葉の会 できました



今年の「へちま化粧水」ができました。この化粧水は、協力いただいている薬局の指導で、化粧品として必要最低限の薬品のみで作っています。

1本 260cc入り。500円の協力金でお求めいただけます。

協力金は、ボランティア活動資金として使用します。へちま化粧水は、市社協ボランティアセンターで取り扱っています。

一度使ってみませんか。



幼児の人形を使って

この救急法の講習は、託児ボランティアグループとして活動している「ファミリースポーツバンビ」の研修会も兼ねており、会員も一緒に講習を受けました。

10月1日(土)と2日(日) 国営アルプスあづみの公園大町・松川地区で、北アルプスフェアが開催されました。昔の遊びを通しての世代交流を目的に「昔の遊び広場」を、公園入口の広場で行いました。両日とも、賛助会大町グループのみなさん11人に協力いただき、コマ回し、羽根つき、けん玉、めんこ、お手玉、あやとり、さらし、おはじき、紙風船等で、来場した子どもたちに昔からの遊び方を教えて、一緒に遊んで交流しました。何回も遊びに来てくれる子どもたちやコマ回しに夢中になる大人もいて、みなさんに楽しいひとときを過ごしていただきました。賛助会の

ボランティアの力かりて 北アルプスフェア 昔の遊び広場

みなさんは、「子どもたちと遊べて童心にかえって、とても楽しかった」「楽しそうに遊ぶ家族の姿はいいね」と話されていました。



コマ回し



おはじき、あやとり

コアラのぽけ

子ども服のリユース「コアラのぽけ



秋冬物と夏物の仕分け

け」に、たくさんの子どもの服をお持ちいただいています。秋冬物に入れ替えるために、ボランティアの力をお借りしました。10月3日(月)に、前回の入れ替え時にお手伝いいただいた「大町花づな会」の6人のみなさんにご協力いただき、夏物と秋冬物に仕分けをしていただきました。順次、市総合福祉センター エントランスの「コアラのぽけ」に展示していきますので、みなさんお越しください。

保育サポーター講座

今年度の保育サポーター講座は、6月から9月まで実践も含め全3回行いました。第3回の9月7日(火)は、平公民館・女性未来館ピュア軽運動室で、日本赤十字社長野支部の救急法指導員から「幼児安全法」の講習を受けました。実際に乳幼児の人形を使い、大人との救急法の違いを覚えていただきました。幼児の場合は、胸骨圧迫の方法やAEDの電極パッドを貼る位置が違います。参加されたみなさんは、声を掛け合いながら取り組みました。今回受講された方は、「スレぶりに救命講習しましたが、初めて教わることであった驚きでした」「幼児の方々は知りませんでした。受講してよかったです」との感想がありました。

今日いってみる会!

65歳以上の方を対象に、ゲームや歌・体操・おしゃべりをして交流する会です。

飲み物持参、動きやすい服装で

11月の予定

11月1日(火)、11月15日(火)

10時～11時

市総合福祉センター